

事務事業チェックシート

事務事業No 293 事業名 里親助成事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
取組方針	3	保護・援助を必要とする子供への支援

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	児童福祉法		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	こども総合支援センター	武一 薫	402-7830
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童福祉総務費	
	大・中事業		児童福祉総務事業	里親助成事業

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 和歌山市里親会の連携強化及び里親制度の普及をめざす。		全体事業概要			
	和歌山市里親会の連携強化及び里親制度の普及をめざす。		里親制度の普及啓発等			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発及び周知 里親会総会への参加 里親会事務局として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発及び周知 里親会サロン、里親会総会への参加 和歌山県里親会和歌山市支部として活動 	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発及び周知 里親会サロン、里親会総会への参加 和歌山県里親会和歌山市支部として里親相談会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発及び周知 里親会総会への参加 和歌山県里親会和歌山市支部として里親相談会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発及び周知 里親会総会への参加 和歌山県里親会和歌山市支部として里親相談会を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20	0	0	0	0	0	0	0		0
伸び率(%)	-	-	▲100.0%	-	-	-	-	-	-	-
人件費	正規職員	2,186	2,406	2,406	1,078	1,002	1,017	1,002		1,002
	正規職員以外	69	141	0	0	0	174	0		0
	小計	2,255	2,406	2,406	1,078	1,002	1,191	1,002		1,002
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0			
県支出金	0	0	0	0	0	0	0			
市債	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0			
一般財源(税等)	20	0	0	0	0	0	0			
所要人数(人)	正規職員	0.19	0.32	0.32	0.14	0.13	0.13	0.13		0.13
	正規職員以外	0.03	0.06	0.06	0.00	0.00	0.08	0		0
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 普及啓発実施回数(ポスター貼付、チラシの配布、講演会等の実施)	回	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	3	4	4		
		達成度(%)					
		達成度(%)					
成果指標 和歌山市里親会登録の里親数	組	目標値	4	10	40	40	40
		実績値	4	35	42		
		達成度(%)					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市里親会の運営のための助成は必要ないので、今後和歌山市里親会への助成は行わない。
見直し・改善内容	里親制度の啓発のための事業を、要保護児童対策地域協議会事業の啓発事業とする。